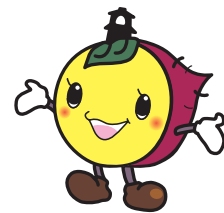




かわごえ

議会だより



川越市マスコットキャラクター ときも



そうめんいったよ!・つかまえた~!

平成22年 第2回定例会

小・中学校18校の校舎と体育館の 耐震補強工事請負契約を可決しました。

定例会の経過(6月)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 2日 議案22件上程 請願2件採決 | 11日 一般質問 |
| 4日 議案質疑 | 14日 一般質問 |
| 8日 議会運営委員会 | 15日 4常任委員会 |
| 9日 一般質問 | 22日 議案22件採決 追加議案2件採決 |
| 10日 一般質問 | 許可2件・選挙2件 選任1件 |

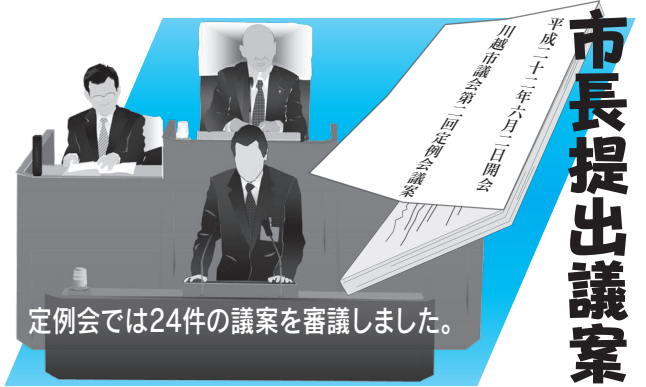


目次

市長提出議案 (2)
特集記事(常任委員会) (3)~(6)
一般質問 (7)~(11)
議会情報 (11)
請願 (11)
本会議は傍聴できます (11)
正副議長・議会運営委員会 (12)
寄附行為の禁止 (12)
おしらせ(議会録画放送) (12)
議場コンサート (12)

市長提出議案 議決結果

平成22年 第2回 定例会 議 案 名	議決結果
専決処分の承認 2件 (川越市税条例一部改正・川越市国民健康保険税条例一部改正)	承認 ● 専決処分って？
川越市税条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市地球温暖化対策基金条例	原案可決
川越市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市立川越高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例	原案可決 ● 主な内容①
川越市立名細小学校耐震補強工事請負契約	原案可決 ● 別表①
川越市立川越小学校耐震補強工事請負契約	原案可決
川越市立泉小学校ほか1校体育館耐震補強工事請負契約 (ほか1校:川越市立霞ヶ関西小学校)	原案可決
川越市立高階南小学校ほか1校体育館耐震補強工事請負契約 (ほか1校:川越市立福原小学校)	原案可決
川越市立川越第一小学校ほか1校体育館耐震補強工事請負契約 (ほか1校:川越市立月越小学校)	原案可決
川越市立芳野小学校ほか1校体育館耐震補強工事請負契約 (ほか1校:川越市立古谷小学校)	原案可決
川越市立仙波小学校ほか1校体育館耐震補強工事請負契約 (ほか1校:川越市立武蔵野小学校)	原案可決
川越市立芳野中学校ほか1校体育館耐震補強工事請負契約 (ほか1校:川越市立東中学校)	原案可決
川越市立大東中学校ほか1校体育館耐震補強工事請負契約 (ほか1校:川越市立霞ヶ関中学校)	原案可決
川越市立城南中学校ほか1校体育館耐震補強工事請負契約 (ほか1校:川越市立高階中学校)	原案可決
彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少	原案可決
埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少	原案可決
平成22年度川越市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
<追加議案>	
公平委員会委員の選任につき同意を求める ● 人事内容①	同 意
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める ● 人事内容②	同 意



主な内容①

原則として、授業料(市内外生:118,800円/年額)を徴収しないこととします。また、入学科等の額を改定します。
 [市内生 入学科: 5,000円 → 5,650円]
 [市外生 入学科: 50,000円 → 100,000円]

別表①

小学校校舎・体育館耐震工事	工事請負業者	工期
名細	株式会社シオノ工業	H22. 6.22~H23. 1.25
川越	東洋建設株式会社	



小学校体育館耐震工事	工事請負業者	工期
泉	初雁興業(株)	H22. 6.22~H23. 1.25
霞ヶ関西		
高階南	株内田産業	〈耐震補強施工例〉
福原		
川越第一	初雁興業(株)	施工中
月越		
芳野	岩堀建設工業(株)	施工後
古谷		
仙波	岩堀建設工業(株)	
武蔵野		

中学校体育館耐震工事	工事請負業者	工期
芳野	株エム・テック 川越営業所	H22. 6.22~H23. 1.25
東		
大東	株エム・テック 川越営業所	〈耐震補強施工例〉
霞ヶ関		
城南	三ツ和総合建設業協 埼玉西部営業所	
高階		

● 人事内容① 公平委員会委員 小倉隆明氏

● 人事内容② 人権擁護委員候補者 島田光子氏

専決処分って？

本来議案が議決または決定すべき案件について、法の規定に該当する場合または議会の議決により委任された場合、市長が議案に代わってこれを処分することです。前者の場合は次の議会で承認を求める必要があり、後者の場合は報告しなければならないのです。



総務常任委員会 報告



<所管事項>

政策財政部、総務部、市民部、秘書室、広報室及び会計室並びに選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の所掌に関する事務の調査、審査。

〔委員会構成〕

委員長	倉嶋美恵子
副委員長	山木綾子
委員	桐野忠子
	川口啓介
	川口知子
	牛窪多喜男
	神田寿雄
	山口智也
	江田一肇
	新井喜一

これまで審査した 主な案件

- ・川越市長の在任の期数に関する条例（現市長の任期を三期十二年までとするもの）
- ・市長、副市長の給料の特例に関する条例（市長給料を二十％減、副市長を十％減とするもの）
- ・川越市税条例の一部改正（寄附金税額控除の対象を拡大しようとするもの）
- ・川越市役所出張所設置

条例の一部改正（公民館と出張所が入った名称細市民センターに関する案件）

・川越市税条例の一部改正（都市計画税を0.1％上げようとするもの）

・川越市行政組織条例の一部改正（文化スポーツ部等を新設）

・南大塚駅南口自転車駐車の指定管理者の指定（二〇〇九年の三月定例会において否決になっていたもの）

・川越市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正（病気休暇の短縮、職員駐車場の有料化）

・川越市職員の特殊勤務手当てに関する条例（全部改正）

・その他（所管内の一般会計予算等も審査）

・市民等からの請願

・所得税法五十六条の廃止を求める請願書を審査。

行政視察

総務常任委員会の視察は、川越市第三次総合計画にも盛り込まれている新斎場、自治基本条例、ふれあい拠点施設を主要テーマとし実施しました。

霞城セントラル

（山形県山形市）

山形市駅前の新都心地区の拠点として役割を担った施設で、県・市・民間の施設が入った、地上二十四階、地下二階建て、総事業費二百七十三億円の豪華な多機能複合施設でした。

川越市と埼玉県との共同事業として川越駅西口に建設予定の「西部地域振興ふれあい拠点施設」を念頭に置き、後記のいわき市の施設を含めた視察を行いました。

（福島県いわき市）

PFI事業の数少ない成功例とも言われている

施設で、大中小の劇場を備えた大型文化施設でした。PFI事業にも係わらず、運営を市の直営で行なっているところに特徴があります。

（栃木県宇都宮市）

最新の斎場施設で、煙突がなく煙も出ない施設は、敷地外からの公園のような外観、プライバシーに配慮された設備と運営システムは、大変参考になりました。

斎場整備事業

（広島県呉市）

PFI事業で建設された斎場整備事業では、葬家に配慮した動線が確保され、火葬炉はダイオキシン除去機能を採用するなど、環境にも配慮されていました。契約金額は約四十五億円で、イニシャルコストは事業費全体の四十五％となつています。既に旧斎場として使っていた所への建設のため、住民からの反対はなかったそうです。

自治基本条例

（愛知県豊田市）

平成十七年に「まちづくり基本条例」を、二十一年に「議会基本条例」を制定しており、条例制定にあたり市民参加に関する素案の事前公表等を行なっていました。さらに、都市内分権を推進する上で地域自治システムを導入し、中学校区毎に地域会議を置き、地域予算提案事業とわくわく事業を創設していました。

川越市の斎場は老朽化に加えて処理能力も限界を迎えており、新設が検討されており、新設が宮市の施設と同様、非常に参考になりました。

市庁舎耐震工事及び庁舎建設（愛知県岡崎市）

岡崎市の市庁舎耐震工事は、旧市庁舎を油圧式耐震補強して西庁舎とし、隣に平成十九年に建設した、地上七階地下一階の庁舎を東庁舎として利用し、七階は消防本部が入

つていました。

みんなでつくるまちの基本条例（大阪府池田市）



池田市では、市民と行政の協働が基本に位置づけられ、例えば、地域会議で一定の予算を受け取り執行し、優先順位や箇所付けも地域会議で決めているとのことでした。そうになると「議会の役割とは」ということになり、システムとして機能する議会のあり方を議論して議会改革に取り組んでいるとの説明もあり、今後に役立つ視察でした。

防災センター（写真）
（兵庫県姫路市）

文教常任委員会 報告



＜所管事項＞

文化スポーツ部及び教育委員会の所掌に関する事務の調査、審査。

委員	松井	高橋	片野	若海	近藤	石川	佐藤	吉敷	石川	大河内
副委員長	井	釜	剛	隆	保	宏	明	士	賢	二
委員	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛

これまで審査した 主な案件

文教常任委員会は、教育委員会が所掌する事項について案件審査を行ってまいりましたが、平成二十二年度の組織改正で文化スポーツ部が設置されたことにより関連の事項についても所掌することになりました。

この間、審査してきた主な案件は、以下のとおりです。

・川越市公民館設置条例

の一部改正

・川越市立学校設置条例の一部改正

・川越市立川越高等学校授業料等徴収条例の一部改正（高等学校授業料無償化に伴うもの）

・川越市立教育センター条例の制定

・川越市立小・中学校校舎・体育館耐震補強工事請負契約（喫緊の課題である学校耐震化は、議会からも早期の実現を求めておりましたが、実施に伴うもの）

・その他（所管内の一般会計予算等も審査）

中高一貫教育

（広島県福山市）

「中一ギャップ」に見られるように小六から中一に移行する中で不登校生徒が増加するなど進学に伴う不適応が懸念されていることや、児童生徒の学力の低下や格差の拡大が指摘されている現状にどのように対応していくべきか、また、川合市長就任後、一貫教育のあり方について検討を進めていたことから、他市での一貫教育の現状を学ぶことが重要と判断し、二市の視察を行いました。

携帯電話とICカードを活用した地域児童見守りシステム

（愛媛県四国中央市）

登下校をはじめとする様々な状況下で子どもたちが巻き込まれ、犠牲となる悲惨な事件、事故が絶えないことに鑑み、子どもたちが安心して過ごすことのできる地域形成にどのような対応が必要か、また、どのような具体的対策が取りうるのか先進的事例を学ぶため、視察しました。

「中学校区教育」を展開し、子どもの発達段階に応じた継続的指導、学校・家庭・地域の連携強化を目指してきた福井市の教育支援プランについて、「特色ある中学校区文化の創造」の取り組みなどを学びました。

市民学習センター

（富山県富山市）

富山市民大学を主宰する市民学習センターを訪問し、講座の開催状況について説明を受けました。

行政視察

文教常任委員会の視察は、児童生徒を取り巻く諸問題や課題、文化財の保護、市民スポーツの振興などをテーマとし実施しました。以下、その目的等を報告します。

小中一貫教育

（大阪府寝屋川市）

川越市では富士見櫓の再建が課題となっており、従前より文教、建設各常任委員会の視察が行われてきました。現委員会としても他市の事例の視察を行い、富士見櫓再建に資する情報を得るとともに、文化財に関する見識を高めるため、視察対象としたものです。

津山城備中櫓復元

（岡山県津山市）

地域協働学校推進事業と埋蔵文化財センター

（岡山県岡山市）

地域協働学校推進事業は、地域全体で子どもたちの豊かな学びと育ちの実現をめざして取り組むことを学びました。

埋蔵文化財センターは施設が充実。川越市も多くの文化財を擁し、分散取蔵されている現状があり、今後の文化財保護行政のあり方についてより一層の検討が必要ではな

いかと考えます。

PFIによる総合体育館の整備及び運営

（兵庫県加古川市）

PFI手法で総合体育館を整備、運営している加古川市を訪問し、川越市が抱えている市民体育館廃館後の新たな体育館整備に資する情報を得て参考とするため、視察を行いました。

文化財の保存活用

（福井県小浜市）

全国に二十あるうちのひとつ、小浜市の「歴史文化基本構想」（若狭町と協働）について説明を伺いました。文化財を個別の分類で考えるのではなく、広義にとらえ、保存と活用を一体的にとらえる優れた取り組み。姉妹都市である小浜市の構想は川越市にとって大変参考になるものといえます。

教育支援プラン

（福井県福井市）

「中学校区教育」を展開し、子どもの発達段階に応じた継続的指導、学校・家庭・地域の連携強化を目指してきた福井市の教育支援プランについて、「特色ある中学校区文化の創造」の取り組みなどを学びました。

市民学習センター

（富山県富山市）

富山市民大学を主宰する市民学習センターを訪問し、講座の開催状況について説明を受けました。

富山市民大学を主宰する市民学習センターを訪問し、講座の開催状況について説明を受けました。

富山市民大学を主宰する市民学習センターを訪問し、講座の開催状況について説明を受けました。



小浜市にて

厚生常任委員会 報告



＜所管事項＞

福祉部、保健医療部、環境部及び産業観光部並びに農業委員会の所掌に関する事務の調査、審査。

〔委員会構成〕
委員長 稲浦敏雄
副委員長 大泉一夫
委員 須賀一博、柿田有博、三上喜久蔵、荻窪一郎、加藤昇、清水京子、小林薫、石川良三郎

これまで審査した 主な案件

- ・長寿祝い金支給条例の制定
- ・保育所整備基金条例の制定（待機児童を解消するため保育園の整備を目的としたもの）
- ・産業観光館条例の制定
- ・産業観光館の指定管理者の指定
- 指定管理者の指定の審査にあたり、「株式会社まちづくり川越」から参考人をまねいて審議を行い、産業観光館の指定管

- ・墓地等の経営の許可等に関する条例改正
- ・土壌汚染対策法関係手数料条例の一部改正
- ・その他（所管内の一般会計予算、特別会計予算等も審査）
- ・川越市大字下老袋地内に建設予定の墓地に対して反対を求める請願
- ・入所施設で暮らしている重度障害者の通院・買い物・余暇活動等を支援するヘルパー制度の拡充等を求める請願
- ・新清掃センター（現資源化センター）リサイクル処理棟新築工事請負契約の変更（資材価格の高騰にともなうもの）
- ・農業集落排水事業汚水処理施設下部工事請負契約、及び工事期間の変更
- ・保育所設置及び管理条例の一部改正（保育所の入所定員を増やしたことにともなうもの）
- ・子ども医療費支給に関する条例の一部改正（子ども医療費の支給対象年齢拡大にともなうもの）

行政視察

厚生常任委員会の視察は、福祉、環境、商店街の活性、観光施策などをテーマに実施しました。以下、その概要を報告します。

・民間のアイデアと資金を導入した取り組みの手法を学びました。

・**ご当地創作バーガー、マスコット「とばーがー」**（三重県鳥羽市）
担当部署の職員の意欲が施策推進の原動力となっている様子がうかがえる一方、マスコット使用権管理などの課題も見えました。

・**回想法「思い出ふれあい」**（愛知県北名古屋市）
介護予防などの効果とともに、指導者の育成や地域での交流など、市民との協同を広げる取り組みは他市でも参考にできるものでした。

・**福祉のICT活用事業**（福岡県大野城市）
市政の様々な分野で利用するシステムの共通部分を独自に開発した経緯が紹介されました。様々な分野の業務のやり方を分析し、整理する手法は複雑な事務処理の改善に役立っているようでした。

・**子育てふれあい交流プラザ**（福岡県北九州市）
子育てふれあい交流プラザは、平日にもかかわらず親子連れでにぎわっていました。設置や管理に多額の費用がかかっていることが課題のようです。

・**観光振興施策**（北海道旭川市）
観光施策については、自然条件などが施策の効果に大きく影響することを感じました。また、観光課と観光協会の役割の明確化は各自自治体で苦労している様子が散見されました。

・**「アラエール号」利用によるゴミ減量施策**（北海道札幌市）
「アラエール号」の利用は先進自治体を参考に導入されており、他の自治体から学んだものが活かされた一例でした。



ヒダ工場跡地にて

建設常任委員会 報告



＜所管事項＞
都市計画部及び建設部並びに上下水道局の所掌に関する事務の調査、審査。

〔委員会構成〕	
委員長	小野澤 哲也
副委員長	若狭みどり
委員	久山新本吉若関 保口井山田狭口 啓金修光みどり 一肇作一雄弘

これまで審査した 主な案件

- ・町の区域を新たに画すること（町地名番整理）
- ・川越市道路線の認定・廃止
- ・川越市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正
- ・川越市下水道条例の一部改正
- ・川越市再開発住宅店舗の指定管理者の指定
- ・市道二五〇六号線道路改築工事（上部工）請負契約

・市営住宅に関する訴えの提起

・川越市営引揚者住宅設置及び管理条例の廃止

・なぐわし公園整備事業用地取得

・市営住宅に関する調停の申し立て

・ふじみ野市道路線の認定の承諾

・川越市建築基準法関係手数料条例及び川越市長期優良住宅の普及に関する法律関係手数料条例の一部改正

・川越市市営住宅処分条例の廃止

・その他（所管内の一般会計予算、水道事業会計予算、公共下水道事業会計予算等も審査）

行政視察

建設常任委員会の視察は、建造物の老朽化の問題、都市景観、公園整備などをテーマに実施しました。以下、その概要を報告します。

名古屋市アセットマネジ

メント

（愛知県名古屋市）

公共施設を資産（アセット）として捉え、道路橋梁、水路、公園、街路樹など、老朽化等による改修、立て直し費用を最小化するための管理方法を学びました。

歴史的風致維持向上

（岐阜県高山市）

飛騨の長い歴史と伝統によって構築された歴史的建造物を中心とした市街地の景観を保存し、将来に向け、活用していくために、国土交通省、文部科学省、農林水産省の三省で成立した「地域における歴史的風致維持及び向上に関する法律」を活用している。認定から手続き、国からの補助金等のメリット、推進体制等、詳しく説明を受けました。

歴史的風致維持向上

（石川県金沢市）

金沢城跡や兼六園、その周辺に広がる寺院など

歴史的な町並み、金沢固有の文化、伝統工芸、情緒、風情を保存、継承するため歴史的風致維持向上計画と景観条例と連動し、推進をしていました。今後、策定予定の川越市の景観計画、観光客の皆様で賑わう川越市の蔵造りの町並み保存に生かしてまいります。

柳井ウエルネスパーク

（山口県柳井市）

現在、川越市は、資源化センターの余熱を利用した「なぐわし公園」の整備を進めております。柳井市の温水利用型健康運動施設を含めた公園について、市民の皆様のためにより良好な設計、運営方法やランニングコース等の課題について学んでまいりました。

橋梁維持管理システム

（大阪府大阪市）

大阪市は「なにわ八百八橋」といわれるほど、八橋の数が多く、うち、五十年以上経過した橋が、

約2割。今後、いつきに耐久性がなくなる橋の効率的な維持管理を最低限の費用で行っている方法を学んでまいりました。



大阪市役所にて

静岡市景観条例

（静岡県静岡市）

現在、川越市が景観計画を進めていますので、この先進都市である静岡市の策定の内容、課題等の説明をいただきました。

橋梁寿命化修繕計画

（長崎県佐世保市）

佐世保市内には、千五百の橋があり、うち建設後五十年を経過する橋が、百十七。老朽した橋の架け替えを行うと費用は、約二百六十一億円と

想定される。予防修繕を行うと約十三億円であるため、修繕計画を立て管理を行ってまいりました。橋の多い川越市の重要課題として、学んでまいりました。

都市景観基本計画

（佐賀県佐賀市）

歴史と文化を中心に市民・民間事業者・佐賀市の協働で、都市景観基本計画を推進している内容の説明を受けました。

川越市の景観計画策定におおいに生かしてまいります。

長崎東公園余熱利用施設・長崎市立図書館

（長崎県長崎市）

PFI事業による施設建設と運営で、コスト削減と五十五万冊の蔵書、三分程度で貸し出し可能な管理システム、市内五十六ヶ所のネットワーク等、市民に喜ばれている図書館運営の説明を受け、施設整備でのPFI手法を学びました。

市政に関する 一般質問

今定例会では、27名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を掲載（氏名下の数字は発言順番）しました。問と答の後には、各議員が今定例会で質問した表題（問）を掲載しています。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものとなっています。一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録でご覧いただけます。

【会議録の閲覧について】

平成二十二年三月定例会の会議録は、図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。今定例会の会議録については、図書館等では、八月下旬頃から、議会ホームページ上では、十月上旬頃から閲覧できます。○会議録をご覧いただけます。

- ・ 市役所六階 議会事務局
- ・ 市役所東庁舎一階 情報公開窓口
- ・ 市立図書館（四館）
- ・ 出張所（十箇所）

※印の答弁者は表示者以外の関係部長等の答弁も含まれています。



P川越21 石川 智明

橋の耐震化は市の重要課題

1

問 市管理の橋約六百橋のうち耐震性が確保されている橋は僅か六橋。耐用年数を過ぎた橋の架け替え計画等、橋の耐震化計画を作成するべき。

答 市長 橋りょうへの地震対策は二次災害の起る可能性が高い陸橋から優先的に耐震補強を実施している。河川橋は橋りょう数も多く大小全てに短期的な地震対策を講じ

ることは困難である。災害時の緊急輸送の重要度の高い、避難に不可欠な橋等の優先順位をつけ、効果・効率的な耐震補強計画を進めたい。五十年経過し架け替え等検討が必要な橋りょうは策定予定の長寿命化修繕計画の中で対応したい。今後、数値目標を入れた計画を策定し順次実行したい。

災害対策



P川越21 倉嶋 美恵子

食育推進計画の早期達成を

2

問 昨年は市民の約十五％が朝食欠食である。病気になる健康な身体をつくる食育推進計画を拡げる具体的取り組み策をどう考えているか。

答 保健医療部長 食育情報は多分野に亘る為、従来は管轄ごとに情報を整理・周知してきたが、今後は情報収集を図り、市民に分かりやすい形で一括して広報やHP、チラシ

シ、イベント等で提供するよう努める。更に健康市民大学講座のうち二回を食育の講演会とし、各種健康教室等の様々な講座でも情報提供を行っていく。また、子ども向けリーフレットを作成したり、保育園・幼稚園に食育の紙芝居を提供するなどして、幼い頃から食育に親しむよう取り組みたい。

食育推進計画



自民ク 神田 寿雄

子宮頸がんに公費助成を

3

問 子宮頸がんワクチン接種に関して、公費助成を求める声が高まっている。本市でも是非とも実施すべきと思うが、いかが考

えるか。

答 市長 子宮頸がんワクチンの接種については、子宮頸がんが検診の受診とワクチン接種により予防できる唯一の手段であること、公費助成を実施、もしくは予定している自

治体が増えていること、市民から公費助成について多くのご要望があることは認識している。現在のところ、子宮頸がんワクチンは任意接種の扱いとなっており、また、公費助成の場合に多額の費用がかかることではあるが、女性に対する助成という点で、前向きに検討していく。

子宮頸がん対策



公明党 大泉 一夫

南古谷駅の北口開設の取組

4

問 南古谷駅を利用する市民は、近年大宮寄りの駅と比べ遅れが目立つ。住民要望の駅改修等の対策を今後どのように行うのか、市長の考えを伺う。

答 市長 市内で人口が一番増加しているのが、南古谷地域である。大型店舗も出来ており、人口が増えれば、駅の改良や北口開設の必要性も高まり、鉄道事業者との認識も一

致すると考える。しかし北口開設や駅の整備には多額の費用がかかるので、整備手法については、橋上駅舎、或いは自由通路、さらには複線化も見込んだ規模の大きな駅、それらを含め他の事業の進捗状況等も見極めた上で総合的に判断したい。

南古谷駅の課題



公明党 桐野 忠

商店街活性化への取り組み

5

問 市長はこれまで商品券発行など商業振興に力を入れてきたが、今後空き店舗対策、その他支援等、商店街活性化をどのように推進するか。

答 市長※ 本市では新規創業者に対する「川越市新規創業者支援資金融資」制度等いくつか支援制度を設けているが、商店街活性化対策は大変難しい問題であると考えて

いる。「経営的にも魅力」のある個人商店や商店街づくりに対する支援が必要と考えており、限られた財源の中でさらに効果的な支援策等について、今後とも先進市等の取組みを参考にしながら関係機関や商店街等とも連携して具体的な施策を決め実行していきたい。

商店街活性化

高齢者・障がい者支援





公明党 近藤 芳宏 6
川越市将来情報の見える化

問 中期財政計画を策定したことで、総合計画、実施計画事業や川越市集中改革プラン等と財政見通しとの整合性が図られ、連動すべきではないか。

有効である。厳しい財政状況の中、財政の健全性の確保、選択と集中による施策や事業の展開等、大変難しい選択を行わざるを得ない状況にある。

答 政策財政部長 中期財政計画は総合計画、実施計画と相互に連動する関係にはないが、両者の関連性を強めることは重要であり、集中改革プランとの相互の内容の共有も

今後、他団体の中期財政計画と総合計画・実施計画等との連携について研究し、有効な仕組みづくりができるよう関係課と共に協議・検討したい。
問 川越市中期財政計画等



公明党 若狭 みどり 7
子宮頸ガン予防接種の助成

問 待ちに待った子宮頸ガン予防ワクチンが、認可になったが、接種費用が約五万円と負担が大きい。川越市の女性の命を守る接種費用の助成を求める。

は女性にとっても、また社会にとっても大変重要なことである。子宮頸ガンワクチンは、子宮頸ガンが予防可能な唯一のガンであることから、その接種費用の公費助成については、財政の厳しい中ではあるが、前向きに検討していきたい。

答 市長※ 市民からは、子宮頸ガンワクチンの接種費用が高額なこともあり、その公費助成を望む多くの意見、またご要望をいただいている。

女性の健康を守ることに
問 子宮頸ガンPart4
問 行政サービス民間提案
問 市の経済・雇用対策



小野澤 康弘 8
河越館跡で歴史の再現を

問 鎌倉武士の館跡に相應しい活用事業として、日頃の武士の訓練であった「やぶさめ」等、中世の歴史や文化を知って頂く取組みを行うてはどうか。

今後の整備活用事業は、地元住民の協力を頂きつつ、庁内横断的協力体制の下で市唯一の国指定史跡への理解を深めて頂けるものにしていきたいと考えている。具体的には、火縄銃演武の企画や、第三期整備事業で建設予定のガイダンス施設早期実現等を検討していきたい。

答 教育長※ 流鏑馬は上戸にある日枝神社の総本社にあたる京都の新日枝社でも平安時代から行われ、河越氏との関係が深い為、史跡保存や安全面で条件を整えたい。

問 現在川越駅西口駅前広場の改善も計画されているようだが、将来を見据えて長距離バス用のバス停を増設しておく必要があると思うが、いかがか。

距離バスには一定の需要が見込まれることから、バス会社も運行に前向きである。現在路線新增設の情報はないが、計画が示されれば積極的に支援したいと考えており、川越駅西口のバス増設についても、今後の長距離バスの見込み等を勘案し、駅前広場改善の検討の中で考えていきたい。



須賀 博 9
長距離バス施策について

問 川越市はデジタル教科書の導入に向けてどのように取り組もうとしているのか。

活用には電子黒板・パソコン・プロジェクトの三点を揃える必要があり、ソフトも高価である、視覚に訴える指導で学習意欲が高まる反面、使用方法によっては実際の体験を通して学習する過程が減少する、等、費用や教育効果についての課題もあるため、今後具体的な活用について研究したい。

答 都市計画部長 現在、川越駅西口から利用できる長距離バスは四路線で、一日四十一本が発着している。利用客の多い羽田空港線は昨年度約五万八千人の利用がある等、長

本市のバス交通施策



自民ク 吉敷 賢 10
(都)南古谷伊佐沼線について

問 都市計画道路南古谷伊佐沼線は市道〇〇四〇号線と並行し計画されている。南古谷伊佐沼線を市道〇〇四〇号線に振り替えてはどうか。

道路は昭和三十九年に当初決定されているが、本年三月末現在の整備率で〇%となっており、事業着手に至っていない。今後は、当該道路を含めた長期未整備路線の見直しについて、議員からの提言を含め、さらなる検討を行い、都市計画審議会での審議を進めていきたい。

答 都市計画部長 都市計画道路南古谷伊佐沼線は、南古谷駅から広域的な幹線道路である国道一六号並びに国道二五四号への連絡を担う幹線道路として位置付けている。この

問 南古谷駅北側の道路



自民ク 関口 勇 11
電子教科書の早期導入を

問 小学校の電子教科書

活用には電子黒板・パソコン・プロジェクトの三点を揃える必要があり、ソフトも高価である、視覚に訴える指導で学習意欲が高まる反面、使用方法によっては実際の体験を通して学習する過程が減少する、等、費用や教育効果についての課題もあるため、今後具体的な活用について研究したい。

答 学校教育部長 デジタル教科書化は、分りやすい授業展開の手段や教育の情報化の方策等として有効である。しかし現状においては、対応できる指導者が少なく、デジタル教科書自体も十分に普及していない、効果的

小学校の電子教科書



市
フォーラム 牛窪 多喜男

中学校での武道の必修化

12

問 新学習要領において、武道が必修化されることについて、教育長はどのように考えているか。

答 教育長 武道が必修化された背景として、教育基本法で、伝統や文化の継承が明確にされたことが挙げられる。武道を学ぶことは、基本動作や対人技能の習得や体力の向上を図ることも大切だが、武道を通して、相手を尊

重する精神や伝統的な行動の仕方や考え方を身につけること等、日本の文化や伝統に触れさせることが大切であると考え、そのことが、安全上の配慮にもつながり、技能の習得や体力の向上にも生かると考えている。剣道、柔道の授業を担当した経験からもこれらのことは、強く認識している。

問 市内中学校体育



啓政会 吉田 光雄

鏡山跡地に関する諸問題

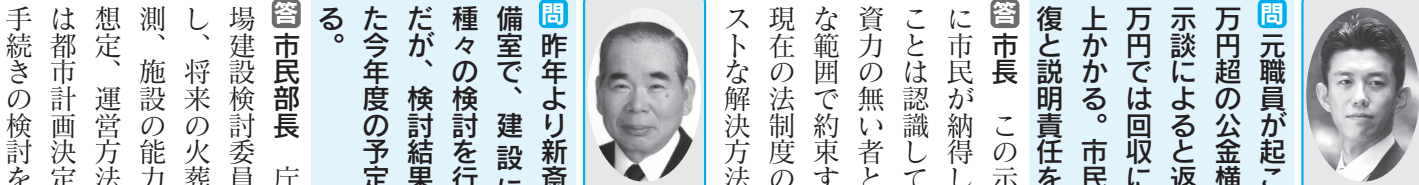
13

問 十月開業に向けての進捗状況や今後の動向等、指定管理者による地元への説明会について伺う。

答 産業観光部長 国の補助金は、三月末に採択されておられ、現在詳細な事業費を積算している。内装・設備工事は建築基準法や消防法の協議が終了し、実施設計の最終段階で、七月中旬頃の工事着工予定である。

愛称は、市民参加による選定委員会での決定を予定している。地元への説明は、内容が確定した上で実施したいとの意向である。指定管理業務の円滑な実施には、地元の皆様の理解と協力が必要であり、今後積極的に説明に努めるよう働きかけたい。

問 旧鏡山跡地の諸問題



民主党 片野 広隆

市民の損害回復と説明責任

14

問 元職員が起こした五千万円超の公金横領事件の示談によると返済月額一百万円では回収に三百年以上かかる。市民の損害回復と説明責任を果たせ！

答 市長 この示談の内容に市民が納得していないことは認識しているが、資力の無い者と現実可能な範囲で約束することは、現在の法制度の中ではベストな解決方法だと考え

るので、市民にもご理解を頂きたい。これまで事件の経緯は節目ごとに報告し、新たな示談の締結も議長、記者クラブ、市民に文書報告や市広報・HP等で報告をしてきたが、今後も議会への報告や市民への市政情報提供を出来る限り行っていくたい。

問 横領事件に係る示談



啓政会 松井 釜太郎

川越市新斎場について

15

問 昨年より新斎場建設準備室で、建設に向けて種々の検討を行ったようだが、検討結果を踏まえ今年度の予定をたずねる。

答 市民部長 庁内に新斎場建設検討委員会を組織し、将来の火葬件数の予測、施設の能力や規模の想定、運営方法、さらには都市計画決定など、諸手続きの検討を行った。

その結果、火葬炉の数を現在の二倍程度に増やす必要があり、告別室、収骨室の充実も考慮すると施設の規模は現在よりかなり大きなものになると考えられる。今年度は内容をさらに深く検討し、建設の基本的な方針や内容を基本構想として取りまとめる予定である。



無所属 川口 啓介

出来ることから改善を

16

問 外郭団体の情報公開への取り組みなど、見直しプラン策定を待たずに改善出来る点もあると考えらるかどうか。

答 市長 情報公開に関する外郭団体独自の規程の整備等は、市側からの要請に基づき、ほぼすべての団体で対応済である。しかしながら、実際の情報提供の方法等については、統一したフォーマットを示していないことや、市のホームページに集約されていないなど、決して分かりやすいものとはいい難い。今後、市のホームページからの閲覧を可能にするなど、見直しプランの策定を待たずに改善できるものがあれば、各外郭団体と協力しながら改善していきたい。

問 外郭団体見直し



公明党 石川 隆二

犬鑑札のデザイン変更を

17

問 狂犬病予防法施行規則の改正により一定の要件で鑑札などのデザイン自由化が可能となった。川越市らしい独自のデザインを検討したらどうか。

答 保健医療部長 犬鑑札と狂犬病予防注射済票の装着は飼い主の義務であると同時に、迷子札の代わり等にもなる。十九年に小型犬の増加や飼い主の犬に対する考え方の変化を踏まえ、装着に便宜化を図る目的でサイズの小

型化と一定条件化での形状の独自性が認められたが、デザイン変更の要望は市民からも数件寄せられている。今後、既にデザインの変更を行った市町村の状況等を調査し、装着率向上に効果が認められれば検討したい。

問 歯科検診で虐待防止

問 登録証や予防注射済証



やまぶき
同志会

〇一〇二運動の認知度

若海 保

18

問市内の交通事故件数は昨年同期と比較して人身物損事故共に増加している。〇一〇二運動の認知度を高める等交通安全対策に取り組むべきでは。

答市民部長

〇一〇二運

動は安全な車間距離を保つため時間を距離に換算し前の車との間隔を二秒以上開けようというもの、埼玉県と県警を中心に十七機関・団体で結成

した安全車間距離保持運動実行委員会が推進している。ラジオ広報や街頭キャンペーン等で広く認知されるようになり、開始後は追突事故が年々減少したこと、着実に成果を挙げていると考え

る。市でもこれまで同様公用車にステッカーを貼付するほか、様々な機会を捉えて協力したい。

問交通安全対策等

新井 金作

19



やまぶき
同志会

ゴミゼロ運動について

問趣旨に賛同する市民・団体・企業参加の良い活動だが、高齢化の今日、内容・事故対応等再検討の必要があると思うがどのように考えるか。

答環境部長

ゴミゼロ運

動は清掃活動を体験し市民としての誇りと自覚を身につけ、ごみを投げ捨てない心を育てる等を目的としている。近年、高齢者の参加も多く、清掃

活動は体力的に負担と聴く。参加団体に「散乱ごみなどを片付ける」という趣旨を理解し危険な作業等には無理のないようお願いしているが、突発的な怪我や事故等も考えられるので、市で傷害保険に加入している。不幸にも事故に遭われた場合は保険での対応をしたい。

問クリーン川越市民運動
問道・水路の市民要望



公明党
清水 京子

川越市駅のバリアフリー化

20

問住民要望の強い川越市駅のバリアフリー化についての進捗状況は、どのようになっているか。

答都市計画部長

川越市

駅のバリアフリー化については、東武鉄道との協議の結果、本年度中の実施を確認している。具体的には、駅入口階段部分へのスロープ設置と多目的トイレの設置、エレベーター利用者専用の跨線

橋を新設し、改札を入った所に各ホームとつながるエレベーターを一基、上下線ホームに各一基ずつで合わせて三基のエレベーターを設置する計画で

ある。東武鉄道によると、九月頃に工事に着手し、翌年三月の完成を予定している。

問川越市駅と周辺対策

市営住宅

学校教育



公明党
少澤 哲也

調整区域の生活排水の改善

21

問下水道の予定が立たない調整区域で、生活排水に苦慮している地域の合併浄化槽の放流先となるインフラ整備に対する市長の考え方を伺いたい。

答市長

公共下水道の全体計画区域にあり、当面整備予定の立たない認可区域外地区に、合併浄化槽の放流先となる水路や

道路側溝を整備後長期間を経ずに下水道を整備し

ても、これらは雨水排除という本来の機能を発揮する施設として残るので、水路・側溝等の整備が無駄になるとは言えない。しかし、合併浄化槽からの放流受入れを前提に水路・側溝等を整備することについては、効率的な公共投資の観点から多角的に検討する必要がある。

問公共資産等の維持管理
問調整区域の排水の改善



民主党
山木 綾子

相談体制の充実！

22

問本庁内の女性相談を充実し、女性相談のワンステップ化を計ると共に、「配偶者暴力相談支援センター」の一日も早い設置を望む。

答市民部長

平成十九年

のDV防止法の改正により、市町村が設置する適切な施設において配偶者暴力相談支援センターの機能を果たすよう努めることとなった。その業務

の中心は被害者の相談に応じることであるが、他に被害者の医学的・心理学的指導、緊急時の安全確保及び一時保護、及び自立した生活に向けた援助の実施等が求められている。配偶者暴力相談支援センターをできるだけ早期に設置できるように、体制の整備に努めたい。

問男女共同参画の推進
問公共施設予約システム



早稲莞
柿田 有一

責任明確化する条例制定を

23

問産業振興を効果的にすすめるには中小企業振興基本条例で理念を示し、継続性や責任を明確にするべきではないか。

答石川副市長

産業の振

興は雇用を通し市民のくらしを豊かにするとともに市の歳入増加に貢献するものであり、持続可能なまちづくりの為に非常に重要な分野である。現在、平成二十七年を

目標年次とする「川越市産業振興ビジョン2007」を策定し、計画的な産業振興への取組みを限られた予算と人員で積極的に推進している。中小企業振興基本条例の制定は条例制定の意義や効果を十分研究し、現行産業振興ビジョンが終了までの間に方向付けをしたい。

問産業振興施策
問自転車駐車場の改善



稗夔 川口 知子 24
農産物直売所新設の支援策

問直売所新設に関する支援策として、市独自の補助基準の設置や経営の専門的知識をもつコーディネーターの人的支援について検討できないか。

答石川副市長※ 直売所は地産地消推進の重要施設であり、スーパーの地場産コーナー充実や朝市開催等と共にその増設を農業振興計画に位置付けている。今後は農家の意

向を調査しつつ、国で実施中の直売所開設に利用できる三補助事業を考慮しながら市独自の補助の必要や効果を調査検討したい。安定経営の為の人的支援は、設立準備と開設後の経営診断をコンサルタントに依頼すると共に、国県の指導下で事業者と協議して検討したい。
【問】都市農業の発展
【問】大東地域の諸問題



稗夔 本山 修一 25
市指定文化財・原田家住宅

問貴重な文化財原田家住宅を県指定にし保存を図り将来へ残していくべきではないか見解を求めます。

答教育長※ 原田家住宅の文化財的な価値については、市としても十分に認識しているところであり、昭和五十九年に店蔵部分を市の有形文化財・建造物に指定し、さらに

市としても、原田家住宅の保存には積極的協力していきたいと考えているところであるが、県指定については、埼玉県教育委員会の判断になるので、今後、所有者の意向も聞きながら、県と協議を進めたいと考えている。
【問】都市計画道路の遅れ
【問】指定文化財原田家住宅



稗夔 佐藤 恵士 26
悪徳業者をしめだせ

問スポーツ新聞の広告で現代のかけこみ寺と称し職も住居もない人を集め劣悪な環境、低賃金で人間を使いすする悪質な業者をしめだすべきだ!

答石川副市長※ 実際は餃子を一日一万円以上売らないと赤字になるとの相談が市に寄せられている。この業者は許可なく惣菜製造を行っている為、保健所が再三の指導を行

っており、今後は告発を含めて厳正に対処する。悪質業者が市内で営業すると、貧困者の増加や住民とのトラブル、健康被害の発生にも発展しかねない。今後この様な業者が入り込まないように国・県と情報交換を密にしながら庁内関係課と連携して対策を講じたい。
【問】歴史文化基本構想
【問】新たな貧困ビジネス



市 高橋 剛 27
南古谷駅の踏切改良

問南古谷駅の西側、東側の踏切改良については、早急に実施されるべきと考えますが、どのような状況となっているのか、伺いたい。

答建設部長 南古谷駅西側の浦和県道踏切は、現在、川越県土整備事務所で事業中であり、駅周辺の県道整備事業の完成後、引き続き、当踏切を含めた道路整備事業に取り組むよ

う県に働きかけたい。駅の東側の浦和川越新道踏切は地元小中学校の通学路に指定しており、朝夕は児童生徒及び駅利用者や通過車両等による交通が輻輳する場所と認識していることから、当踏切周辺の道路計画を検討する中で、JRや関係機関との協議を行っていききたい。
【問】南古谷駅周辺整備
【問】東清掃センターの今後

議会情報

請願

川越市大字下老袋地内に建設予定の墓地对して反対を求める請願書
— 採択 —



平成二十二年第一回定例会で継続審査とし、五月六日に厚生常任委員会にて審査し、採択としました。今定例会初日には議

平成二十二年第一回定例会で継続審査とし、五月六日に厚生常任委員会にて審査し、採択としました。今定例会初日には議

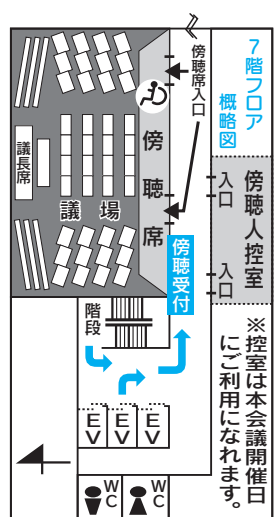
等支援するヘルパー制度の拡充等を求める請願書
— 不採択 —

入所施設で暮らしている重度障害者の通院・買い物・余暇活動

した。今定例会初日には議事として採決を行い不採択としました。

市議会本会議は、どなたでも傍聴できます!
一般席57席、車椅子用スペース(1台)があります。先着順での受付になります。

- 傍聴までの流れ**
- 市役所本庁舎7階へ(エレベータ又は階段をご利用ください)
 - 傍聴受付で傍聴希望をお伝え下さい。
 - 傍聴券に必要な事項(氏名等)をご記入の上、傍聴券(半券)をお受けとり下さい。
 - 議場入口(2箇所)より傍聴席にお進み下さい。一般席(57席)は自由席です。立見、床に腰掛けての傍聴はできません。
 - 本会議中でも傍聴席への出入りは自由です。傍聴券は発券当日に限り有効となりますので、お帰りの際は傍聴券を傍聴受付にご返却下さい。



議長・副議長を紹介します

議長 小林 薫

経歴

平成7年に市議会議員に初当選し、今期が4期目となります。現在までに議会運営委員長等を歴任しています。



副議長 荻窪 一郎

経歴

平成11年に市議会議員に初当選し、今期が3期目となります。現在までに文教常任委員長等を歴任しています。



議長・副議長

六月二十二日に市議会議長・副議長の選挙を行いました。

▼川越市議会議長の辞職について
山口智也議長より、議長の辞職願が提出され、許可しました。

▼川越市議会副議長の辞職について
議長の欠員により、選挙を行い、小林 薫議員が議長に当選・就任しました。

▼川越市議会副議長選挙について
三上喜久蔵副議長より、副議長の辞職願が提出され、許可しました。

川越市議会副議長選挙について

副議長の欠員により、選挙を行い、荻窪一郎議員が副議長に当選・就任しました。

議会運営委員会

▼川越市議会運営委員会委員の選任について
任期満了につき、選任を行いました。

- 委員長 小野澤康弘
- 副委員長 大泉 一夫
- 委員 片野 広隆
- 高橋 剛
- 関口 勇
- 若海 保
- 近藤 芳宏
- 吉田 光雄
- 本山 修一
- 石川 智明
- 松井釜太郎
- 新井 喜一

寄附行為の禁止にご協力ご理解を！

議員が、選挙区内の人にお中元を

贈ること、暑中見舞い等を出すことは、
(答礼のための自筆によるものは除く)

禁止されています。

有権者が寄附を求めることも
禁止されています。



本会議の様様をCATVで録画放送

市議会では、市民に開かれた議会を目指す一環として、平成22年第1回定例会（3月定例会）より、本会議の様様をJCN川越・川越ケーブルテレビで試行的に録画放送を始めました。

放送内容は、開会日・議案質疑日・最終日の審議模様です。

次回予定：平成22年第3回定例会（9月定例会）の様様は議会の日程が決まり次第、川越市議会ホームページ等でお知らせします。

放送時間：午後6時から。

放送CH：JCN川越・川越ケーブルテレビ 川越市民チャンネル
地上デジタル 112ch アナログ 5ch

詳しくは議会事務局 議事課までお問合せ下さい。（電話 224-6067）



議場コンサート

六月二日に議場コンサートを開催しました。

文化庁「舞台芸術の魅力発見事業」や全国各地での小学校音楽鑑賞教室等で活動している管弦楽演奏の「アンフィニ・スタジオ・オーケストラ」により、「ポルカ雷鳴と稲妻」「ヴェニスの謝肉祭」他二曲が演奏されました。



編集後記

今号より「かわごえ議会だより」のタイトル部分を少し変えてみました。特集として、各常任委員会が審査した主な案件や行政視察の報告を掲載しております。
今後とも議会の活動状況を読みやすくお伝えするよう努めてまいります。

発行 川越市議会
編集 川越市議会広報紙
編集委員会
電話 049-224-6067

議場コンサートについての
お問合せは庶務課まで。
電話 049-224-6062

